

19 昭和47年豪雨災害の記憶を伝える治山工事（足柄上郡 山北町中川地内）

神奈川県（山北町）

箒杉



山腹崩壊時状況（昭和47年）

箒杉

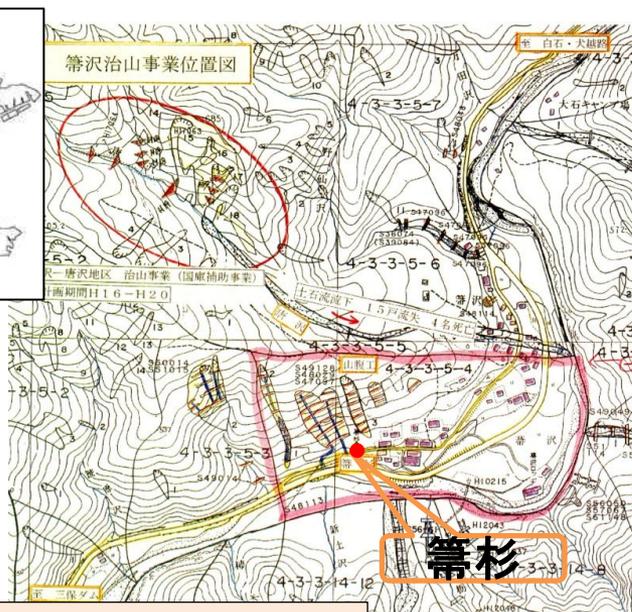


山腹工施工状況（昭和49年頃）

箒杉



現在の状況



○所在場所

神奈川県足柄上郡山北町中川地内

○施設・工法の概要

山腹工、溪間工、航空実播工等

○解説

昭和47年7月の豪雨災により、山北町を中心に甚大な被害が発生、神奈川県において戦後最大の豪雨災害となり、復旧事業として、昭和57年までに溪間工436基、山腹工26ha等が施工されました。

箒沢地区では、災害時に「箒杉」（写真中央の巨木）が土砂崩れから集落を守ったと言われており、根元には集落の守り神として祠が祀られ、毎年災害があった7月12日と秋祭りには地区の人々が参拝しています。

現在は、治山事業により荒廃地に森林がよみがえり、箒杉は、地域の人たちに山地災害の記憶を伝え、見守り続けています。